

議会報告、視察、夏まつりなどでフル回転

この1週間はハードスケジュールでした。日本共産党議員団主催の議会報告会、ボブスレー場視察、市議会の大雨災害現場視察、市議会の常任委員会、夏まつりの参加などが続いたからです。紙面の制約ですべてをお知らせするのは不可能ですので、なるべく短くまとめてみました。



め、に病院幹部の皆さんと県議（前県議）をまじえて懇談していきこの重要性や談合をなくしていくための研究と実践が求められていり、明確になりました。

医師不足などで意見交換
市民プラザで党議員団主催の議会報告会を5日、市民プラザにて行いました。改選後初めての報告会です。30数人の市民の皆さんから参加していただきました。
今回の報告会では、平良木議員が改選後の市議会での新たな体制、5月臨時議会や6月議会での焦点、今年度予算の特徴などについて報告。また、竹島良子前県議からも協力してもらい、新潟県の医療の現状と課題についても特別報告していただきました。
参加者からは、「医師不足が続いているが、県が行っている施策、制度を教えてほしい」「ほくほく線電車にはトイレがついていない。なんとかしてほしい」「学童保育の料金が上がって困っている。どうしたらいいのか」「労災病院の診療科が減ってきている。どういう運動を起こせばいいのか」などの声が寄せられました。こうしたなかで、労災病院を守るために病院幹部の皆さんと県議（前県議）をまじえて懇談していきこの重要性や談合をなくしていくための研究と実践が求められていり、明確になりました。



野党と市民の共闘組織の継続を確認

上越市、妙高市の民進党、社民党、日本共産党、生活の党、新社会党の代表と市民連合などが10日、上越市内で会合を持ち、参院選新潟選挙区選挙で大きな力を発揮した野党統一＋市民の共闘組織の継続を確認しました。

会合では参院選の総括をするとともに、安保法制廃止などを求めて統一してたたかうことを確認し、「連絡調整会議」も存続させていくことを決めました。この会合には森ゆうこ参院議員も参加しました。

写真は挨拶する森ゆうこ参院議員。

はすでに視察済みです。今回はキューピット、尾神岳の2か所を見て回りました。一部に修繕が必要な箇所もありましたが、全体としてよく管理されているという印象を持ちました。前回とは3年前だったと思いますが、「危険標識がよく見えない」「草刈りが不十分」などいくつか率直に指摘させてもらったことがきちんと改善されているのを確認でき、安心しました。



安塚などのボブスレー視察

日本共産党議員団によるボブスレー場の視察。午前9時、安塚、金谷山、名立の3カ所を視察。市内にあるボブスレー場の視察。午前9時、安塚、金谷山、名立の3カ所を視察。市内にあるボブスレー場の視察。



【ツリガネニンジン】キキョウ科の多年草。漢字で「釣鐘人参」と書きます。若芽は「ノノバ」として食用になります。山間部に咲く花と思っていたら、海岸部の居多の災害現場で咲いていてびっくりしました。

市議会27人が災害現場へ
10日の午後、先日の大雨災害の現場視察を市議会としても行いました。災害対策特別委員会メンバーを中心に、大視察団になりました。私の知る限り、市議会の災害現場視察としては最大規模です。春日山城跡の地滑り災害、五智公園の崩落、居多の県道の崩れ（写真）を視察しました。早急に復旧させたいものです。



はしづめ法一の活動レポート

No.1769 2016.8.14
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四一七回

お斎

今年の夏は暑い日が続いています。親戚のMさんの葬儀の日も強い陽射しが照りつけていました。初七日法要が終わって、お斎の会場であるお寿司屋さんへと車で移動したときも、強烈な暑さでした。日陰に入らないと外にはいられませんでしたね。

今回の葬儀で導師を務められたお寺さんは真宗仏光寺派の方で、この方の声がけでお斎ははじまりました。先付、前菜、刺身、焼物、煮物、蒸物、揚物などが適度の間を置いて出されてきます。おかげで、ゆっくりと落ち着いて食べることができました。

飲み物はお酒、ビール、ウーロン茶など各人の好みに応じて飲んでいいことになっています。参加者が遠慮している様子を察知されたのでしょうか、Mさんのお兄さんにあたるNさんが、「何でも注文してください。注文しないと出てきませんから」と声を出しました。にもかかわらず注文する人はなかなか出てきません。Nさんは飲み物の一覧表を手にも「いかがですか」とまわりはじめました。何人もの人が注文し、私も「のんある気分カシスオレンジ」をお願いしました。

アルコール分がある無しに関係なく、口にある程度飲み物が入ってから、お斎の席は賑やかになりました。私のすぐ隣の席は妻。そのまた隣の席におられたのはMさんの隣家であるAさんです。今回初めてお会いした方ですが、出身は吉川区頤法寺ということ、話がはずみました。

Aさんは小学校三年生まで頤法寺にいて、その後、直江津に住むことになった方ですが、昔の農家の暮らし体験は私とほぼ同じです。年越しを迎えるときに用意するご馳走のひとつはニワトリの肉でした。その際、ニワトリの骨を槌でつぶし、団子にして食べたとか、ヤギの乳を搾るときにあばれないようにと、左後ろ脚をしばったとかいう思い出を語ってくださいました。

私が初めて知ったことも出てきました。頤法寺の実家のお父さんは俳句をやっておられたのです。私は、このお父さんとは何度か話をさせてもらっていました。俳句のことはまったく知りませんでした。Aさんからこの日、紹介していただいた句は、「頤法寺 山深く鳴くセミの声」、いまの季節とぴったりの句でした。

今年は雪消えが早く、暖かな日が続いたこともあって、野の草木も畑のものも成長が相当早くなっています。中桑取に住むMさんのお姉さんや頤城区北福崎在住の親戚の方たちの話も聞こえてきました。

昔話からお盆の話になったのでしょうか、誰かが、「おらとこのひまわり、咲き終わったよ」と言うと、「うちのアスターも、もう終わってしまったよ。まだお盆が来ないというのにさ」「グラジオラスだって終わっている」といった声が続きました。お盆まで一週間ほどしかないときでしたので、みんな心配しているんですね。

お斎は葬儀の一連の流れの中で終盤の行事です。亡くなった人を思い出しながら、既にこの世にいない自分の親などと共に過ごした時代のことなども振り返る機会となります。そして、命のバトンをつなぐ子や孫への思いも強くなるときでもあります。

今回のお斎の参加者の中で最年少は生まれて九か月のR君です。冷房の利いた会場の隅っこの小さな布団の上でスヤスヤと寝ていました。お斎が終わったとき、何人もの人がこの子の顔を見に行きました。「この子、福耳だわ、いい耳しているね」と言っって耳に触る人もいました。そばにいた新米のおじいちゃんが待っていましたとばかりに言いました。「耳はわが家の系統です。ただ、カネはたまらんけどもね」。



「越後よしかわやったれ祭り、賑わう

第18回の「越後よしかわやったれ祭り」が6日行われ、参加してきました。

夕陽が沈む中、ペットボトルで作製した稲穂竿灯がきれいに輝いていました。今回も吉川小学校や中学校の児童生徒が頑張ってくれました。吉川区以外からの応援も参加も大きく広がってきたように思います。

私の今回の役目は鏡割りとくじ引き、米俵の神輿の奉納でした。時間がたっぷりあったので、祭りで店を出している人や遊びに出かけてきた人など大勢の人たちと話ことができました。

手づくり作品を鑑賞

6日は市民プラザまで足を伸ばしました。頤城区の、女性のみなさんたちによるパッチワークなどの作品展を観るためです。

作品はいずれも手づくり感のあふれたものばかり、温かい作品が多かったですね。

右上の画像は作品展で気に入っ

た作品のひとつです。お父さん、お母さんの顔は完全に似顔絵になっていました。上手なもんですね。感心しました。



初めて牧草ライブに

7日は、小滝で行われた「小滝牧草ライブ」に行ってきました。音楽愛好者と地元町内会の共同の取組です。会場は昔の牛飼いの牛舎のそばです。いまなお牛飼いをしている姿に触れて胸がいっぱいになりました。



上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月3日(水)	8月10日(水)
上越南消防署	0. 0 4 7	0. 0 3 7
上越北消防署	0. 0 5 7	0. 0 5 3
新井消防署	0. 0 5 3	0. 0 5 0
頤北消防署	0. 0 4 7	0. 0 4 7
頤南消防署	0. 0 5 0	0. 0 5 0
東頤消防署	0. 0 5 3	0. 0 5 7
高士分遣所	0. 0 4 3	0. 0 5 7
名立分遣所	0. 0 5 3	0. 0 5 0